

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

# ひゅーまん ネットわーく

# 地域に生きる



2025年 1月 発行 / 第100号

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



ジョブサイトひむろご利用者と新築棟



# 新年を迎えて

社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 松<sup>まつ</sup>上<sup>がみ</sup>利<sup>とし</sup>男<sup>お</sup>

新年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

また、旧年中に皆様から頂きました私ども法人経営・事業所運営に対する  
ご理解とお支えに対しまして、衷心より感謝いたします。

昨年11月1日に法人設立準備期より私ども法人経営を支えて頂いた前中村節史理事長が亡くなりました。前中村理事長は、1998年2月の法人設立時より副理事長、2006年度より理事長職を担って頂きました。私は常務理事として、ともに法人経営を担って来ましたが、前中村理事長の「結論が出るまで徹底して議論する」姿勢と大手企業で常務取締役を担われた経験に基づくマネジメント手法について多く学ばせていただきました。

私にとっては、貴重な相談役を失うことになりました。前中村理事長からの学びを法人経営に活かしながら、改めて法人設立の原点である法人理念「地域に生きる」の具現化に向けた法人経営・事業所運営の充実、発展に向けて、役職員一同心を一つにして邁進したいと存じています。

念頭にあたり、特に法人経営で今後とも大切にしたいこと、新たに取り組みたいことについての思いをお伝えしたいと思います。

## 1. 支援者に求められる専門性

昨年、入職3年から5年目の職員を対象に私ども法人を就職先に選んだ理由やその時に「刺さった言葉」についてのアンケート・ヒヤリング調査を行いました。多くの職員が挙げたのが「根拠のある

支援」でした。その理由として、「施設見学をしたときに、利用者支援について支援員に尋ねると、具体的に支援事例について説明して頂いた」との回答がありました。

私ども法人では、「北摂杉の子会が求める人材像」を掲げています。その一項に「福祉のプロとしての自覚と誇りを持ち、利用者及びその家族に対してより適切なサービスの提供や説明を果たせるよう専門性を磨くとともに、自らのキャリアアップに努める職員であること」があります。

私は常に、「対人援助専門職として、説明ができる支援を提供することが求められている」と話しています。「説明ができる支援」、即ち「根拠のある支援」＝「エビデンスベースの支援 (Evidence-Based practice)」であり、それを実現する基本は、言うまでもなく「アセスメントに基づいた支援」になります。

これからも法人として、利用者支援の質の向上を目指して、「根拠のある支援」の提供ができる職員の養成に注力したいと思っています。

## 2. 人材の成長が組織の成長に繋がる

言うまでもなく「人材の成長があってこそ組織の成長」があります。理事長の責務の一つが「職員

の成長を下支えすること」にあります。引き続き一人一人の対人援助専門職としての成長を支える継続した教育・訓練の充実に取り組みたいと思っています。

また、第5次中期計画の策定にあたり、法人の新しい使命を掲げました。その使命は、「社会と人の変革、新しい価値の創造」「社会、世界に必要とされる人材の育成」です。

社会福祉法人は、社会から様々な地域課題を解決する役割を期待されています。そして、その役割を果たすことが公器としての社会福祉法人の責務です。

その責務を果たすための基本が「地域の課題を解決しうる人材の確保と育成」にあります。

私は、「私ども法人の職員は、地域課題を解決しうる人材として、社会、地域の皆様からその人材育成を託されている」と思っています。その人材育成の基本認識に立って、引き続き育成に取り組むしたいと思います。

### 3. 福祉人材の確保と育成は、社会福祉法人の責務

近年、社会福祉領域で働く人材の確保が厳しい状況にあります。その社会的課題解決の一つとして、給与などを含めた労働環境の改善があります。同時に対人援助専門職として働くことの「魅力発信」とそのことを体験しうる「体験の場」の提供が社会福祉法人経営者に求められていると思っています。

私は、大学を卒業して51年間、知的な障害や自閉スペクトラム症のある人の支援に携わってきています。この51年間、障害のある人、その家族の皆様から、「人間の成長にとって必要な多くの気づき」が得られました。対人援助の仕事は、「人間としての成長にとって大切な気づきと成長」を得られる素敵な仕事であると思っています。

この素敵な対人援助専門職としての「魅力発信」と多くの人たちにその「体験ができる場作り」を創造する取り組みが求められていると思っています。

私ども法人は、法人理念に共感し、その理念を日々の利用者支援に落とし込み、自らの成長を目指す素晴らしい働き手に恵まれています。

法人として、毎年人材確保の戦略を検討し、人材確保の活動を行っています。社会福祉法人の責務の一つとして、福祉人材確保に向け、対人援助専門職として働くことの素晴らしさの情報発信」とその体験ができる「体験の場づくり」の検討と実践を試みたいと思っています。

結びになりますが、法人機関紙「ひゅーまんねっとわーく地域に生きる」が今月号で第100号の発行となりました。

「ひゅーまんリレー」にご投稿して頂きました72名の皆様に、改めて感謝申し上げます。

引き続き機関紙「ひゅーまんねっとわーく地域に生きる」をご愛読いただきますようお願い致します。皆様からのご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いに存じます。



# ひゅーまん HUMAN-RELAY リレー

## 見知らぬ人の電話は取るなと言うけれど

NPO 法人SUN 理事長 ふじむら いずる 藤村 出さんより

知ってる人からかかってきたら、  
出るじゃないねえ…、仕方なく  
詐欺ではないけど…、災厄ではあるなあ…

2024年10月29日11時39分、会議中に電話  
が鳴る

発信者、福岡寿、と名前が出る

取らないわけにはいかないだろう

なんと言っても、福岡さんは恩人だから

ボクの今があるのは、恩人福岡さんのおかげ  
20数年前、長野に移り住む時に仕事を紹介  
してもらい、

その法人とは長く付き合わなかったが、  
存するその土地が気に入って、爾来そこで暮  
らすことになる

広い長野県、風光明媚な様々な土地がある  
が、

ここはなにもない、ただの里山

しかし、最初に移り住んだその土地から動くこ  
とはなかった

ボクにとっては、最後のふるさと

福岡さんは、時々こうやってボクを引っ張り  
出す

もう、引退したって言うのに  
「エッセイ書いてくれ、ある法人の機関紙で  
…、

リレーで、日詰さんから福岡に来て…、

次は、なんとなく藤村さんなんだけどさあ…」と  
えー、と言いながら、断りにくい

「わかった、書くよ、じゃ、またね」と切った

次の瞬間、「しまった!」と思った

だいたいにおいて、施設通信紙なんて、どれ  
もおもしろくない

どこ行った、なに食った、なんて話、内輪  
だけに配りゃいい

イマドキなら、SNSで充分だ

ノーマライゼーションのノの字もない

プライバシーもなけりゃ、肖像権もない

まあ、表現の自由ってのもあるから、文句は  
このへんでやめとく

宣伝したいことはなにもない

地域のことも、自分たちの仕事も

細々と過疎の村で暮らす

しかし、全然哀れでもなく、村の人たちと仲  
良く暮らしている人たち

一般的には障害者とか高齢者とか言われる  
人たちも、含まれてるけど

困るのは、なににするにも不便だし、金がない  
こと

でもまあ、これはしょうがないな、あるもので暮  
らそう

あとは、近所の支えと、創意工夫

ま、なんとかなる

ぼくは、自閉症の専門家だが、（失礼、過去  
に…であった、だ）

特別、専門的に活かすことは、なにもない  
だがしかし、学んだこと、実践の成果は、今  
に生きている

田舎にいても、あらゆる障害の問題は、  
エリックやゲーリーに教わったTEACCHの哲  
学と技術で解決できる

TEACCHは、地域社会に生きる人間の基  
本に忠実だ

本質をなかなかつかんでもらえないのが、残念  
まあ、伝道者としての役割が不十分だったと、  
反省はする

が、引退したボクには、言うべきことはない

残念なのは、

こんなに知識や技術が進歩した時代なのに、  
障害のあるひとたちや自閉症の人たちの暮ら  
しは、

40年経っても、そんなに大きく変わっていない

「暮らし」と言うのか、「扱われ方」と言うのか  
…

昔は、自閉症、どう扱って良いのかわからな  
いまま、

世界中で混乱していた

なんとかしようと、自閉症の正しい理解と療育  
技術の革新に

みんなが努力した

現代、

もう、なにをすればいいか

なにをしなければいけないか

はっきりわかっているはずなのに

全国の自閉症のひとたちの生活は、そんなに  
変わっていない

明らかに、関係者のサボタージュ

法や制度を担う国も、

国民の生活を守る自治体も、

無責任に民間に放り出し、

下請けまがいの扱いをして、

本質から目をそむけている

そして社会は、ノーマライゼーションも忘れ、

障害者は、メシのタネと化した

自閉症に限って言えば、

「言ってもダメだ」って言ってるのに、

学校や施設では、いまだに、言って聞かせよ  
うとする専門職がいる

早く、「虐待」で訴えられたらいいのに

# 地域における包括的支援体制の構築をめざして

## ～地域連携を考えて～

### 働きがいとともにつくる

～ 1 人の障害者雇用が 40 人の働きがいに繋がる  
社会を目指して ～



Pleasure Support 株式会社  
代表取締役 <sup>まち</sup> 町 <sup>たかゆき</sup> 孝幸 さんより

#### 【活動のきっかけ】

プレジャーサポート株式会社は下記の経営理念を掲げる、創業 20 年になる企業のコンサルティング会社です。

|         |      |                                   |
|---------|------|-----------------------------------|
| PURPOSE |      | 働きがいを創造します                        |
| MISSION |      | みんなの分かつと分かり合えるのお手伝い               |
| VISION  | 情景   | 自分の役割に自信を持ち<br>互いの価値を認め合える社会を創ります |
|         | 中期方針 | 働きがいの創造を体現する                      |
| VALUE   |      | 自己理解・目的思考・自己決定                    |

元々私は銀行員だったことから企業の経営を改善する活動をしていたのですが、偶然障害を持つ子どもさんがいらっしゃる方の『自分の子どもが一日だけ先に逝ってほしい』という言葉に衝撃を受け、就労継続支援 B 型事業所の商品開発に携わることになりました。その中で、北摂杉の子会の星明さんとの出会いがあり、障害者支援の本質について多くの学びを得ました。

当初は、障害者施設が製造する焼き菓子や手工芸品の販売をサポートすることが主な活動でしたが、星明さんはじめ現場で実践している方々から「障害者の可能性を引き出し、企業が共感できる形で伝えることの重要性」を学ばせていただき、単なる販売支援を超えた価値創造の必要性を感じました。例えば、障害者が働く現場を見学することで、企業や地域社会がその可能性に気づき、共感を持てる仕組みを構築することが求められていると気づいたのです。

その後の活動を通じて、障害者の就労支援が単なる社会貢献の枠を超え、働きがいを創るという企業や社会の根本的な課題に直結することを知りました。この学びは、私たちの活動の指針となり、地域全体で「働きがいをともにつくる」というコンセプトを深めるきっかけとなりました。

#### 【現在の取り組み】

現在、私たちは「コレカラプロジェクト」を展開し、企業、学校、福祉施設、地域リソースをつなぐ多様な取り組みを進めています。このプロジェクトの特徴は、メタバースを活用した新しい交流の場を提供していることです。

メタバース上では、働きがいを持って働く大人たちと、未来の希望である学生たちが直接交流できる仕組みを構築しています。例えば、学生たちはメタバース内で障害者雇用を進める企業や、障害者を受け入れる地域リソース（美容室や飲食店など）の活動を見学し、働くことの意義を学びます。ある学生は、メタバース内で障害者と協働する企業の担当者から、「個々の能力を引き出す工夫」について話を聞き、自身のキャリアに対する視点が大きく変わったと語っています。

さらに、このプロジェクトでは福祉職員や障害者自身も参加し、社会との接点を広げる機会を提供しています。福祉職員は企業文化や経済活動の仕組みを学び、支援の幅を広げています。また、障害者は地域社会で自らの役割を見つけるき

けを得ています。これにより、メタバースは単なる仮想空間ではなく、全ての関係者が「働きがい」を共有し、創造するためのプラットフォームとして機能しています。

一方で、障害者雇用を実践している企業も、メタバース内で学生や福祉職員との交流を通じて、自らの取り組みの意義を再確認し、さらなる発展の可能性を模索しています。



※メタバースを使った障害者雇用のマッチングイベントの様子

### 【立ちはだかる壁】

こうした取り組みを進める中で、私たちはいくつかの課題に直面しています。その中でも特に大きな壁として立ちはだかるのは、企業が障害者を含む多様な社員を理解し、彼らが能力を発揮できる環境を整えることです。

企業側には、障害者の特性を正しく理解し、適切に活躍できるよう支援する文化が求められています。例えば、視覚や聴覚に障害を持つ社員に対する業務内容の調整や、コミュニケーションを円滑にするためのツール導入などは、その一例です。また、障害者を支援する企業の管理職には、単に業務指示を行うだけでなく、社員一人ひとりの強みを引き出し、組織全体でサポートする姿勢が求められます。

これらは決して“障害者の為に”すべきことではありません。『健常者が勝手につけた序列によって41番目（法定雇用率では概ね40名に対して1名の雇用義務がある事から算出）に追いやられた障害のある社員にとって働きやすい会社は、40番目にいる健常者の社員にとっても働きやすく、40番目の社員にとって働きやすい会社は39番目の社員にも働きやす

い会社である』という考えに基づいているのです。

一方で、福祉職員が社会や企業文化を深く理解することも課題です。企業と福祉職員の間で視点のギャップがあると、障害者支援の質が低下し、結果として当事者の働きがいにも影響を及ぼします。このギャップを埋めるためには、福祉職員が企業のニーズを学び、それに応じた具体的な支援策を提案できる能力が必要です。

また、社会全体における障害者支援の認識向上も重要です。多くの人々が「障害者雇用は特別な取り組み」という先入観を持っていますが、実際には障害者の働きがいを追求することは、すべての人々の働きがい向上に直結します。この認識を広めるためには、企業、学校、地域社会が一体となり、障害者支援を社会全体の課題として捉える必要があります。

### 【未来への展望】

私たちは、「働きがいをともしつくる」という理念のもと、これからも活動を続けていきます。北摂杉の子会様をはじめとする多くのパートナーとの連携を深め、1人の障害者雇用が周囲の40人の働きがいに繋がる社会を構築することを目指します。

特に、メタバースを活用した取り組みは、物理的な制約を超えて多様な関係者が参加できる場を提供する可能性を秘めています。この仮想空間では、学生や福祉職員が障害者雇用の現場に触れるだけでなく、企業が自らの取り組みを発信し、社会全体に向けた意識改革を促進することができます。

障害者が働きがいを感じる社会を構築することは、現代社会全体で失われつつある「働きがい」を再び創造する挑戦でもあります。この理念を共有し、新たな価値を地域社会に生み出し続けることで、すべての人が自分の役割に自信を持ち、互いの価値を認め合える社会を目指していきます。

これからも、企業、学校、福祉、地域社会が連携し、「働きがい」を中心に据えた持続可能な社会の実現に向けて歩み続けます。

# ジョブサイトひむろ 新築第2期工事竣工のご報告



ジョブサイトひむろ管理者・サービス管理責任者  
もり た こう へい  
森 田 耕 平

令和6年12月、ジョブサイトひむろ新築第2期工事が完工し、令和7年1月より定員60名の障害福祉サービス生活介護事業所として新たなスタートを切りました。

竣工に際して、ご利用者、ご家族を始めとする関係者の皆さま方に多大なるご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

設計は従前より法人の事業所の建築に数多く携わっていただいている、株式会社二井清治建築研究所にお願いしました。広い廊下や階段、段差が少ない構造で、ご利用者の高齢、重度化に対応していることはもちろんですが、エントランス付近の広く開放的な空間が大きな特徴です。



ジョブサイトひむろ 設計コンセプト

二井清治建築研究所

- 外観は近隣の木材を用いて、シンプルでもダンボールにも通みのあるデザインとし、道路内の動線が見え、導かれる。地域の人が入ってこられる建物とした
- 内装は木材を効果的に使用し、実用によるけや経路を導くとともに、安全でも心地よい環境の中で利用者が快適に過ごせる空間とした
- 障害特性に応じた多様な仕事（陶芸、クリーニング、軽作業など）に対応した空間
- 自身の健康を維持・向上できるプログラム（運動、創作活動、スヌーズレン）を行う専用の部屋
- 病院スぺクトラム広の人も受入れることができる職室とした作業室や療育からの専門アプローチ



| 用途    | 障害福祉サービス事業所（生活介護） | 工事期間                  |
|-------|-------------------|-----------------------|
| 定員    | 60名               | 1期工事 2021年12月～2022年4月 |
| 構造・階数 | 鉄骨造 3階建て          | 2期工事 2022年8月～2022年10月 |
| 敷地面積  | 1,349.79㎡         | 3期工事 2024年5月～2024年12月 |
| 延床面積  | 1,364.75㎡         |                       |

## 1 竣工までの経緯

ジョブサイトひむろ（移転）整備計画は平成24年度の第3次中期計画から法人の年度方針に掲げられていました。当初は移転計画を進めていましたが、諸般の事情で断念せざるを得ず、現在の場所での建替え計画に移行しました。計画から約12年と、長い時間を要しましたが、令和4年5月に第1期工事、この度の第2期工事完工の運びとなりました。

## 2 ご利用者、職員の安心・安全の確保

ジョブサイトひむろは、従たる事業所ジョブサイトひむろ北と一体的に運営していました。主従の事業所は道路を隔てて、徒歩で1分足らずの距離ですが、完工を機に、ジョブサイトひむろ北を廃止し、2期棟に移行したことで、送迎等、移動の際のリスクを解消することができました。

行動面に課題がある方々には個別の活動スペースを用意し、直接個別スペースにアプローチできるような設備や動線を整備することで刺激が軽減され、ご利用者、職員ともに安心・安全を確保することができました。

以前は倉庫を改装した建物だったため、天井が高く音が響きやすい、空調の効きが悪いといった感覚が過敏な方にとっては快適とは言い難い環境でした。また、階段が急で狭いといった課題も改善され、高齢、重度化したご利用者にとっても優しい環境に生まれ変わりました。



## 3 地域に開かれた事業所

ジョブサイトひむろは高槻市と福祉避難所の協定を締結しています。福祉避難所とは一般の避難所で過ごすことが難しい方々が利用できる二次的な避難所で2期棟2F南側に設置しました。自然災害発生等の緊急時には福祉避難所として、平常時は創作活動を始め、音楽療法やエアロビクス、トレーニング等の多目的スペースとして活用します。また、将来的には一般にも開放し、地域の社会資源としての活用も視野に入れています。

## 4 今後について

2月から厨房で調理した昼食の提供が始まりますが、設備の移設や改修工事の積み残しもあるため、本格的に稼働するのは次年度からになると考えられます。

今後は、従来から事業所として積み上げてきた支援や活動は維持しながら新たな環境のもと、利用されている方々、ご家族の満足度の向上のため、より質の高いサービス提供に努めます。また、社会の公器として地域に必要とされる事業所を目指します。

## 「強度行動障がいのある方々の豊かな暮らしの実現と 人材育成を考える」を開催しました



北摂杉の子会

常務理事 平 野 貴 久

11月9日(土)、高槻地域生活支援センターぷれいすBeを会場に、zoomウェビナー(アーカイブ配信あり)方式にて、北摂杉の子会セミナー「強度行動障がいのある方々の豊かな暮らしと人材育成を考える」をテーマに、北摂杉の子会セミナーを開催いたしました。

本セミナーの主旨として、法人設立から強度行動障がいの状態像にある方の支援に取り組んできましたが、強度行動障がいの方が、住み慣れた地域で豊かに暮らしていただくことや、それを支える人材育成に、ようやくスポットが当たってきており、今回のテーマとして開催させていただきました。

### 1 基調講演

基調講演では、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事の古川慎治様に「中核的人材と広域的人材の養成と役割期待」というテーマでご講演いただきました。国立のぞみの園様が進められます中核的人材養成研修のことや、整備が進んでいる広域的人材養成の進捗について、国の動きや実際の状況をととても分かりやすくご説明いただきました。「強度行動障がいのある方が落ち着かれることがゴールではなく、豊かな暮らしに向かう出発点だ」というお言葉が印象に残りました。

次に北海道札幌市の社会福祉法人はるにれの里、自閉症者地域生活支援センターなないろ所長の加藤潔様に「強度行動障がいに挑むチームを作る」というテーマで、ご講演いただきました。加藤様のご経験や日々の支援での体験から感じられたチーム作りに必要な視点や要素や、人材育成について、とても分かり易く、説得力のあるお話をいただきました。

### 2 実践報告

実践報告として、当法人より3つの報告を行いました。障害者支援施設萩の杜の川村萌華より「外部スーパーバイズを通して学んだこと」というテーマで、行き詰っている支援にスーパーバイザーを導入してから支援のプロセスと、スーパーバイザーの支援における効果や、スタッフの安心感についての報告がありました。

次にグループホームレジデンスなさはらもとまちの喜多竜也より「ご本人が希望する豊かな暮らしとは～意思決定支援を通して～」というテーマで、実践報告がありました。グループホームにお住いの利用者に、現状の環境よりも、居室変更を行うことでメリットがあると考え、職員からご本人に、居室変更の様々なメリットを視覚的に提案し、数回にわたり意思確認したところ、結局、ご本人は居室変更しないことを望まれたという内容だったが、ご本人の意思と支援者の意思の相違を学ぶことにつながったという報告でした。

上記2つの報告は、のぞみの園が主催している

中核的人材養成研修を受講した職員が、実際に支援のスーパーバイズを行っており、貴重な報告になったのではないかと思います。

3つ目の報告として、大阪府より当法人が委託を受けて実施しております「重度知的障がい者地域生活支援体制整備事業」のコンサルテーションのプロセスや、実際の効果測定の結果について平野より報告致しました。

### 3 実践報告総評とミニ講座

実際に全国の事業所にて、強度行動障がいの方の支援についてのコンサルテーション等に関わっておられます中山清司様に、実践報告を受けての総評と人材育成についてのミニ講義をいただきました。中山様から、実践発表をした川村、喜多に対し、取り組みについての質疑応答や意見交換を通してスーパーバイズをいただく方式でしたが、中山様の人材育成を目的とした、的確なアドバイス等がとても印象に残りました。

### 4 鼎談

セミナーの締めくくりの鼎談として、「中核的人材と広域的人材の養成と今後の展望」というテーマで、長く国の福祉施策に関わってこられました、志賀利一様をお迎えし、基調講演をいただいた古川様、当法人理事長の松上との鼎談が行われまし

た。3名様ともに、中核的人材や広域的人材の養成や人材育成について、国の検討会や研究等に、実際に関わってこられた皆様のお話ということもあり、とても具体的で、説得力がある内容でした。特に急性期の強度行動障がいの方への「集中支援」のあり方については、検討の内容についてとても分かりやすくご教示いただきました。

本セミナーは、当法人職員、新卒採用内定者をはじめ、全国より約400名の皆さまにご参加いただきました。ご参加、ご視聴いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

本セミナーの開催については、法人の若いスタッフを中心とした実行委員会が、企画、調整、運営を担当してくれました。委員会メンバーに感謝したいと思います。

また多くの関係の皆様のご尽力、ご協力を得て、開催することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

セミナーの開催が、強度行動障がいのある方にとって、「地域での豊かな暮らしの実現とそれを支える人材の育成」を目指す一助につながりますことを祈念したいと思います。

以上





## ライフステージを通じた 切れ目のない支援を目指して

～ 大阪府発達障がい者地域支援力向上事業の取り組みから ～

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

主任 佐 藤 沙 織

### ■ 大阪府の現状について

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか（以下、センター）では以前より個別の事業所へのコンサルテーション（以下、コンサル）を経年で実施してきました。しかし、現在大阪府下にはゆうに1000か所を超える障がい児者支援の事業所がある中、現場職員の異動や退職などで知識やスキルを積み上げていくことが難しい現状があります。また、5名のセンター職員で事業所単位のコンサルをし続けることにはマンパワー的（予算の課題）な限界もあります。

さらに、ご本人・ご家族のニーズは障がい福祉分野のみならず複雑化・多様化しており、人口の10%が何らかの発達障がい特性を有すると言われている状況も考慮すると、地域の支援体制を検討・整備している、市町村行政や障害者地域自立支援協議会へのアプローチと、障がい福祉に留まらない多領域の機関との連携が必要でした。そこで、当センターと大阪府の協議の元、大阪府発達障がい者地域支援力向上事業（以下、向上事業）を令和3年度より開始しました。

今回は当センターがR3～R5年に実施した向上事業を通して、発達障がいのあるご本人・ご家族が子どもから大人までのライフステージを通じ、大阪府のどこに住んでいても身近な地域で安心して暮らせるよう、市町村等へのコンサルから体制整備に取り組んだ実践について報告します。

### ■ 大阪府発達障がい者地域支援力向上事業について

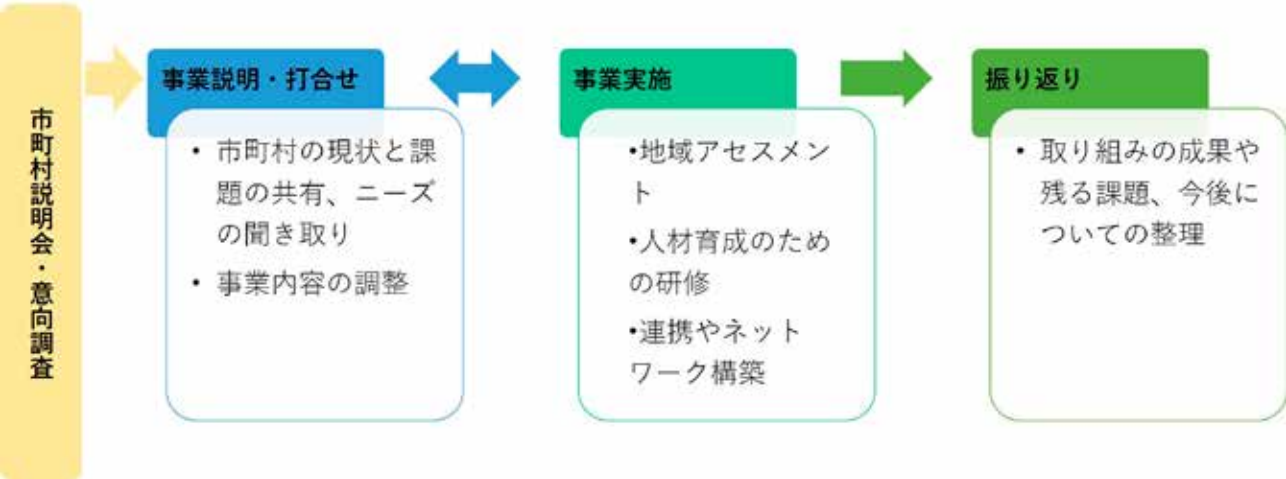
事業の目的は、当センターに配置している発達障がい者地域支援マネージャー\*1（以下、地マネ）を市町村に派遣し、障がい福祉分野に留まらない各関連分野での、発達障がい児者の支援力向上や支援体制整備を図ることです。具体的には、市町村の自立支援協議会等と協働し、地域課題の整理や、地域課題に即したオーダーメイド型の研修等についてのコンサルを行います。また、市町村における発達障がい支援の核となる人材を育成し、育成した人材を中心に、多分野での連携体制を構築していけるような助言も行います。

事業活用の流れは右記の図1の通りです。まず、市町村行政向けに事業説明会を実施し、事業活用についての意向調査を大阪府所管課より行います。次に事業活用意向のあった市町村に地マネが出向き、事業説明や現状の聞き取り等、打ち合わせを行います。その後、ニーズや地域課題に合わせて、地域アセスメントや、人材育成のための研修、連携やネットワーク構築など、支援体制の充実にに向けた取り組みを市町村と地マネで一緒に行います（図2）。年度末には、事業活用の振り返りを行い、取り組みの成果や残る課題の抽出、次年度以降についての整理や検討を行っています。なお、R3～R5年の事業活用市町村数は、延17市町、実9市町でした。

\*1 発達障がい者地域支援マネージャー：

発達障害者支援センター等に配置し、各自治体、事業所、医療機関などにうかがい、アセスメントや支援ツールの導入や各関係機関の連携や困難ケースへの対応等を実施。大阪府においては、市町村の障がい者自立支援協議会等に派遣し、市町村の発達障がい児者支援の支援体制の構築を進めている。

□ 図1：事業活用の流れ



□ 図2：取り組みの例(一部)

| 目的                            | 取り組み内容                                                                    |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 障がい特性の理解を深め、支援者同士が共通言語を持つ     | 発達障がいの基礎理解や疑似体験を行う講座                                                      |
| 見えない障がい特性に気づき、個別に合わせた支援方法を考える | ・ 架空事例を通して発達障がいの特性への気づきを深めるためのワーク<br>・ 冰山モデルで行動の背景をアセスメントするワーク<br>・ 事例検討会 |
| 自分たちの地域の現状や課題を知る              | 地域診断ツール（Q-SACCS）を活用した地域アセスメントの実施                                          |
| 家族支援の充実                       | ・ ペアレント・メンターの体験談の紹介<br>・ 家族支援の大切さについての講座                                  |

## ■ 事業の成果

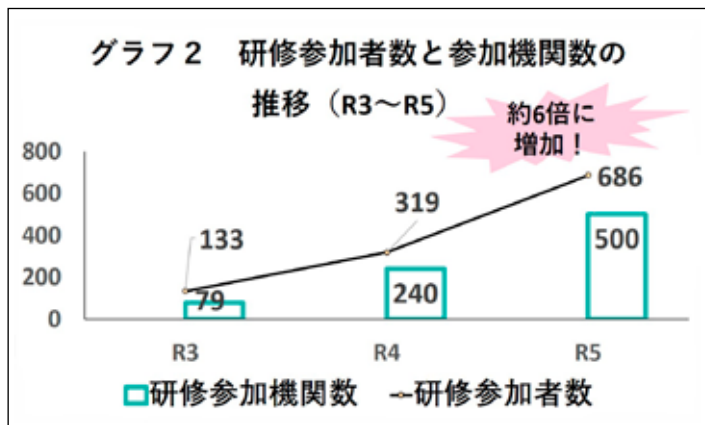
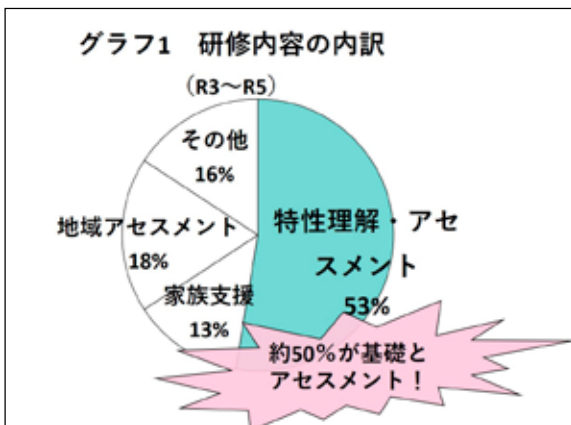
事業の成果は4点あります。

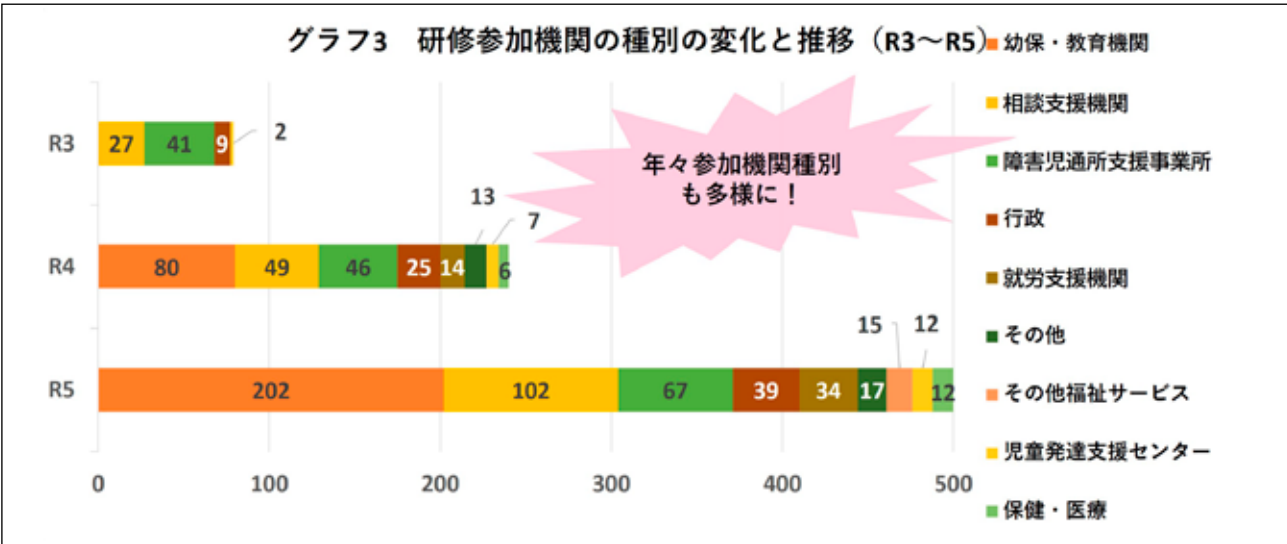
### 1. 支援力の底上げ

多分野・多領域の幅広い支援者に発達障がいの研修を実施し、発達障がいの特性理解とアセスメントの視点について共通認識を持てるように図りました。グラフ1～3は、研修内容の約5割が発達障がい特性の理解とアセスメントの内容で、研修参加者・参加

機関共に年々増加し、研修参加機関種別の幅も広がっていることを示しています。

発達障がいのある方の支援は他機関と連携しながら行う場合がよくありますが、その際に重要となる「共通言語（発達障がい特性の理解など）」を多職種で共有することが必要になります。また、幅広い多数の支援者への人材育成のための研修は、地域の支援力の底上げにもつながると言えます。





## 2. 課題整理に基づいた発展的な取り組みにつながった成果

向上事業を通じて複数市で、発達障がい児の地域支援システムの簡易構造評価（通称Q-SACCS\*2）を活用し、地域における発達障がい児者の支援体制を視覚化し、地域の課題整理を行いました。Q-SACCSの特長は、資源だけでなく資源をつなぐ、つなぎの機能が視覚化できる点です。つなぎの機能を担う部分

も含めて地域の強みや課題等を視覚化し、優先順位をつけながら次の発展的な取り組みに繋げることができました。具体的には、事例A市のように、1年目を実施した地域アセスメントを元に強みや地域課題を抽出し、2年目にA市の課題の一つである、児童期から成人期へのつなぎの課題に焦点をあてた研修開催へ発展しました。

\*2Q-SACCS：地域における発達障がい児者等の支援体制を分析・点検するための地域評価ツール。

### □ 図3：事例A市(2年間事業活用)

ニーズ：自立支援協議会として発達障がい児者支援についての地域課題を抽出し、整理したい。また、発達障がい児者支援の向上へのきっかけにしたい。

1年目：  
自立支援協議会においてQ-SACCSの実施、  
と課題抽出と整理（下記は一例）

2年目：  
課題の一つである児童期から成人  
期へのつなぎの部分への取り組み

| 年齢区分・人口 | 7～15歳                                       | 16～18歳                                       | 19歳～                                         |
|---------|---------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 人口      | 1,200人                                      | 1,500人                                       | 2,500人                                       |
| 支援体制    | 児童発達支援センター<br>児童相談所<br>児童福祉課                | 青少年支援センター<br>青少年相談所<br>青少年福祉課                | 障害者支援センター<br>障害者相談所<br>障害者福祉課                |
| 課題抽出    | 児童発達支援センターの機能強化<br>児童相談所の連携強化<br>児童福祉課の連携強化 | 青少年支援センターの機能強化<br>青少年相談所の連携強化<br>青少年福祉課の連携強化 | 障害者支援センターの機能強化<br>障害者相談所の連携強化<br>障害者福祉課の連携強化 |
| 取り組み    | 児童発達支援センターの機能強化<br>児童相談所の連携強化<br>児童福祉課の連携強化 | 青少年支援センターの機能強化<br>青少年相談所の連携強化<br>青少年福祉課の連携強化 | 障害者支援センターの機能強化<br>障害者相談所の連携強化<br>障害者福祉課の連携強化 |



## 3. 多分野・多領域での連携推進と、市の意識の変化

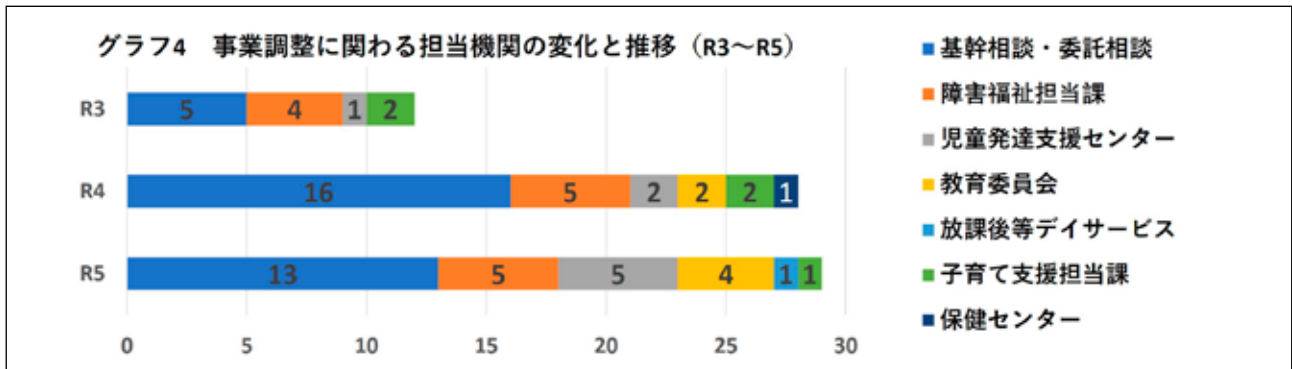
グラフ4からも、事業調整に関わる担当機関種別が年々多様化しており、多分野・多領域での連携推進に繋がっていることが分かります。その中でも特に、

教育と福祉の連携推進に繋がる取り組みの事例を複数市で積み上げることができました。

また、単年ではなく経年での事業活用を通して、市が地域課題を我が事として捉え、地域課題について積極的に考える等、市の主体性が徐々に発揮され

るようになりました。事例B市では3年目の活用時に、児童発達支援センターや事業所より、発達障がい基礎講座の動画や実践報告作成について積極的な提案があり、3年間の事業活用の振り返りでは、次年

度以降も教育・保育・福祉の合同研修を継続できるよう調整する方向性で考えていること、3年目に作成した動画を市内の人材育成に活用したいとの意向が挙げられました。



□ 図4：事例B市(3年間事業活用)

ニーズ：子どもを取り巻く支援者が同じ方向を向いてサポートできる様に  
共通認識を持ちたい。また、連携の場づくりをしたい。

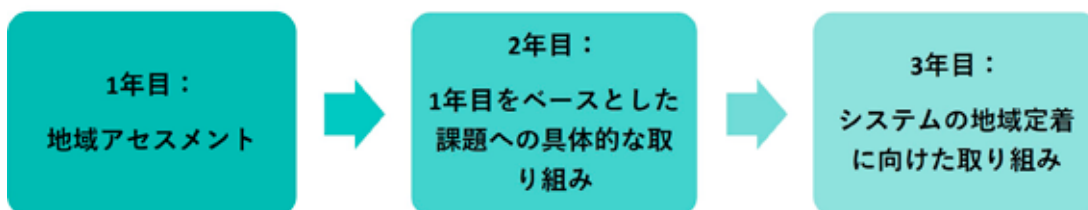
1年目：  
障がい児通所支援事業所間の交流・連携強化  
2年目：  
教育・保育・福祉の交流・連携強化を目的とした合同連続研修会の実施  
3年目：  
2年目と同様の研修を市主体で開催  
→市立児童発達支援センターによる発達障がい特性の基礎理解講座の動画作成、市内障がい児通所支援事業所の事例を元にした事例検討と実践報告

#### 4. 次年度以降の事業の枠組みの変更につながった成果

上記成果を大阪府の所管課とも都度共有した結果、R6～R8年度の事業では、単年度での活用から図5のように、基本は3年連続の事業活用とし、1年

目は地域アセスメント、2年目は地域アセスメントで出た課題についての取り組み、3年目は2年目の取り組みの定着や連携ネットワークの構築に向けてのフォローアップを行うという枠組みになりました。

□ 図5：基本的な事業活用例



#### ■ まとめ

本事業を通して、市町村における支援体制の構築のためには、市町村が地域課題を我が事として主体的に考え、人材育成やネットワークの構築について地域のシステムに落とし込み、PDCAサイクルを実施していくことが大切であることが分かりました。また、大人の支援体制の充実はもちろん、予防的視点として、子どもの頃から多分野の関係機関との連携による支

援体制の構築や情報の引継ぎがなされることが重要であることも再確認できました。当センターとしては、ご本人・ご家族のニーズを吸い上げ、コンサル事業の好事例の積み上げと発信を行うことで、今後もご本人やご家族への直接支援とコンサル事業（間接支援）の両輪でセンター運営を継続し、府域の支援体制の充実を目指していきたいと考えています。

## 2023年度後援会からのご寄付の報告

この度、北摂杉の子会後援会から 2023 年度のご寄付を受けて、以下の事業を完了いたしましたのでご報告いたします。  
ご賛同いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

寄付総額 300万円

- 使途内訳
- ①豊中市立児童発達支援センター通所部門  
wifi 工事費用およびパーテーション購入 (60万円)
  - ②ジョブサイトよど  
トイレブース取付工事費用 (25万円)
  - ③ジョブサイトひむろ  
活動スペース壁増築工事費用 (25万円)
  - ④レジデンスなさはらもとまち  
トイレ改修工事費用および活動スペース壁増築工事費用 (190万円)

### ①豊中市立児童発達支援センター 通所部門



パーテーションを設置することで、ご利用児の遊ぶスペースと、保護者の方との面談スペースを区切ることができました。

### ②ジョブサイトよど



ジョブサイトよど 2 階多目的トイレは個室に洋式便座と小便器が設置されています。洋式便座をアコーディオンカーテンで囲い個室化することで洋式便座使用中でも小便器が使用でき、トイレ利用の混雑が解消されました。

### ③ジョブサイトひむろ



1F、2F の出入り口を分けることで視覚的な刺激や動線が整理され、皆さん、安心、安全に出入りや移動ができるようになりました。

### ④レジデンスなさはらもとまち



ドアと壁をつくり、エリアの整理を行いました。  
より個別化された空間を確保することで、ご利用者が更に安心して穏やかに過ごされています。



トイレのドアを増設しました。  
動線の整理となり、ご利用者の混乱軽減に繋がりました。

ジョブサイトひむろご利用者 登間佐俊孝さん

## 『かんでんコラボ・アート2024』最優秀賞受賞のご報告

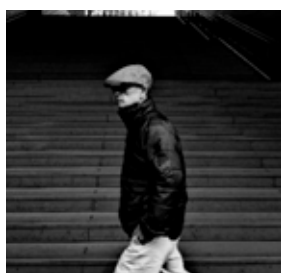
ジョブサイトひむろのクリエイティブ・ベース（アート・陶芸グループ）に所属されている登間佐俊孝さんが、『かんでんコラボ・アート2024』にて一番の上位賞である最優秀賞を受賞されました。かんでんコラボ・アートとは、関西電力グループが社会貢献活動の一環として2001年から毎年開催している、障がい者アートの公募展です。関西一円の障がいのある方々から絵画や立体作品等を公募し、近年では500点を超える作品数の中から受賞作品等を発表・展示しています。ジョブサイトひむろでは約4年前から毎年クリエイティブ・ベースのご利用者の作品を応募しております。

今回最優秀賞を受賞された登間佐さんのアトスタイルは、日記絵画です。日々の出来事を

毎日一枚ずつ絵にすることが日課である登間佐さん。眼科の定期通院やガイドさんとの外食、ジョブサイトひむろでの散歩等…心に残った出来事の情景を鉛筆で薄く重ねて描きこんだ上に、透明水彩絵の具の淡い色が乗った、優しい線とカラフルな色合いが印象的な絵画です。作品の裏面には日付と絵にした内容の説明が文章で記されており、一見構図が似ている絵においても登間佐さんにとっては全く違った一日を大切に描き留められていることが分かります。そんな、日々の思い出が丁寧に記されたA4画用紙一枚分の日記絵画を、5枚×6枚の計30日分に繋げた作品が、今回の受賞作品である「わたしの30日間（R6.8～）」です。



かんでんコラボ・アート2024



登間佐さん



わたしの30日間（R6.8～）

登間佐さんの作品を含んだ受賞作品及びその他作品は、かんでんコラボ・アートのHPの他、下記の公開展示会にてご覧いただけます。皆さま是非お越しくださると幸いです。

開催場所：**グランフロント大阪** 北館1階ナレッジプラザ

開催期間：2025年2月18日（火）～2月24日（月）

- 2025年2月21日（金）13時半からは授賞式があり、賞状と賞金3万円が登間佐さんに授与されます。



# 杉の子 いいね!

🍵 レッツ 🍵  
クリエイティブ  
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動(絵画・詞・陶芸等)を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

レジデンスよどは、三津屋北ホームと十三ホーム2拠点で運営しています。  
今回は、各ホームの活動について紹介させていただきます。

## レジデンスよど 三津屋北ホーム



今年9月で開設4年目を迎えました  
ささやかではありますが毎年お祝いをしており、今年  
はみんなで『クレープづくり&クッキーのデコレーション』をしました  
これからもよろしくお願いします!

昼食のお弁当作りをされている方、洗剤が少なくなった時に補充してくださる方、洗面台や脱衣場を掃除して下さる方等、ご利用者の皆さんにもご自身のできることをお手伝いいただいています

## レジデンスよど 十三ホーム



今年の4月に開所1周年のお祝いでホットケーキ作り  
をしました。  
少しずつこのようなイベントもみなさんと一緒に楽しんで  
いきたいと考えています。

フロアとスタッフルームをつなぐ窓に、ご利用者の方々に作っていただいた作品を飾っています。(制作は全員ではなく、スタッフがお願いした際、ご利用者の気が向いた時に無理のない範囲でしていただいています。)作品テーマはスタッフが決めてお願いしていますが、一人ひとりとても個性が出た作品を作られています。

# 掲示板コーナー

(令和6年9月から令和6年11月まで)

## 法人事業部 掲示板

| 9月    | 行 事                                       |
|-------|-------------------------------------------|
| 4日    | 法人事業部管理会議                                 |
| 6日    | 第4回新入職員研修 「障害福祉制度の概要について」「個別支援計画の考え方について」 |
| 6・20日 | 運営会議                                      |
| 9・24日 | 経営会議                                      |
| 13日   | 医療連携推進室会議                                 |

| 10月    | 行 事                        |
|--------|----------------------------|
| 2日     | 法人事業部管理会議                  |
| 4日     | 医療連携推進室会議                  |
| 7・21日  | 経営会議                       |
| 11日    | 第5回新入職員研修 「保護者対応、面談対応について」 |
| 11・25日 | 運営会議                       |
| 19日    | マイナビ梅田 介護福祉インターンシップ合同説明会   |
| 24日    | 権利擁護虐待防止委員会                |

| 11月   | 行 事                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日    | 医療連携推進室会議                                                                                                                                 |
| 6日    | 法人事業部管理会議<br>キーバリュー発掘プロジェクトワークショップ                                                                                                        |
| 8・22日 | 運営会議                                                                                                                                      |
| 9日    | 令和6年度 第3回法人研修・北摂杉の子会セミナー2024・内定者研修<br>「強度行動障がいのある方々の豊かな暮らしの実現と人材育成を考える」<br>・基調講演「中核的人材と広域的支援人材の養成とその役割期待」<br>国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 理事 古川 慎治氏 |

| 11月    | 行 事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9日     | <ul style="list-style-type: none"> <li>基調講演「強度行動障がいのある方々の暮らしを支えるにあたって大切にしている思い 必要な組織体制や人材育成について」<br/>社会福祉法人はるにれの里 自閉症者地域生活支援センターなないろ 所長 加藤 潔氏</li> <li>北摂杉の子会 実践発表<br/>「外部SVを通して学んだこと～強度行動障がいのある利用者への支援を通じた人材育成～」<br/>「ご本人が希望する豊かな生活とは～意思決定支援を通して～」<br/>「大阪府重度知的障がい者地域生活支援体制整備事業の実践報告」</li> <li>実践発表総評+ミニ講義<br/>「実践発表の総評と今後に向けての展望」<br/>自閉症eサービス全国ネット代表 中山 清司氏</li> <li>鼎談「中核的人材と広域的支援人材の養成と今後の展望」<br/>NPO法人PDDサポートセンターグリーンフォレスト理事長 志賀 利一氏 古川 慎治氏、理事長 松上 利男</li> </ul> |
| 13・20日 | 関西学院大学人間福祉学部主催 学内企業説明会「福祉系キャリアナビ」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 14・25日 | 経営会議                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 15日    | 第159回理事会<br>第1号議案 福祉医療機構からの借入の件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 25日    | 第160回理事会<br>第1号議案 規定改正（変則勤務手当・応援手当創設）の件<br>第2号議案 職務執行状況報告書の件<br>第3号議案 事業計画進捗状況の件<br>第4号議案 補正予算案の件                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

(松本 記)

### マイナビ梅田 介護福祉インターンシップ合同説明会



### 内定者懇親会



### キーバリュー 発掘プロジェクトワークショップ



### 関西学院大学人間福祉学部主催 「福祉系キャリアナビ」



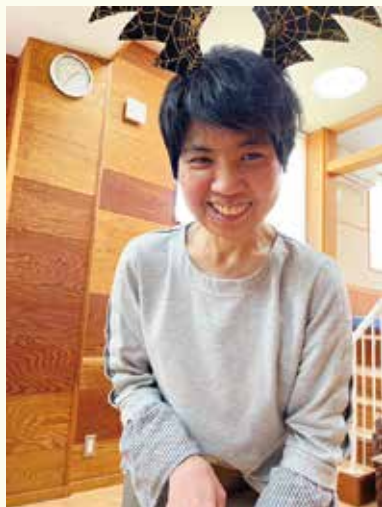
### ～萩の杜～

【ハロウィン特別メニュー】夕食が星型のハンバーグ、エビフライ、プリンなど豪華なメニューに喜んでおられました。



### ～ふれっと～

ハロウィンのコスプレをしてエアロビを開催しました。



### ～ふれっとなさはら～

プチハロウィンパーティーを行いました。



## ジョブサイトひむろ掲示板

9月



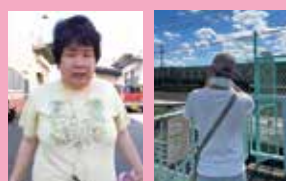
暑い中も元気に活動中☀



10月



のんびり・ゆったりお散歩♪



収穫祭



美味しいおもとジュースを堪能🍷



工事の様子



着々とできており  
みな興味津々です。  
2025年1月から  
営業開始です！



11月



涼しくなり  
秋を満喫🍁



(村岸 記)

## アクトおおさか Topics!!

### ～令和6年度大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか主催 府民対象公開講座のご報告～

令和6年11月21日（木）にZoomウェビナーにて府民対象公開講座を開催しました。講師にはiPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）所長の吉田友子先生をお招きし、「自分らしく生きるために～発達障がいのある人の自己理解とは～」というテーマでご講演いただきました。事前申込では450名という大変多くのお申込みがあり、当日は当事者の方やご家族の方、支援者の方など260名以上の皆様にご参加いただきました。

ご講演では、ご本人がご自身の特性を知ることの目的と効果、周囲がご本人に特性を説明する際の具体的な方法や考慮した方がよいポイントについて、丁寧にお話いただきました。また、ご本人が診断に対してネガティブなイメージを抱いてしまわないように、という視点や、ご本人と特性の理解を進めていくうえで注意しておきたい点についてもお話いただき、参加者の方は実際の状況をイメージしながら理解を深めることができていたようでした。

講座終了後のアンケートでは、「大変参考になった」「参考になった」という感想が9割以上を占めました。当事者の方からは自己理解の重要性に気づいたという声が聞かれ、ご家族の方からはご本人が辛い思いをしない特性の伝え方を知ることができて良かったという声や、周囲がご本人を理解することの重要性を改めて実感したという意見が聞かれました。また、支援者の方からは、診断名や周囲の支援者の考えが一人歩きしがちな現状がある中でご本人の思いを中心に支援することの重要性を再認識できたという意見が多く見られました。

今回の講座で得られた学びや幅広い視点を、参加された皆様の今後の生活や支援に活かしていただけることをアクトおおさかとしても期待しております。ご講演いただいた吉田先生、ありがとうございました。

（奥野 記）

大阪府民対象公開講座  
主催：大阪府発達障がい者支援センター アクト大阪  
2024年11月21日 13:30～16:00

自分らしく生きるために  
～発達障がいのある人の自己理解とは～

子どもとおとなの心理学的医学教育研究所 iPEC  
<https://www.pec2005.com/>

千代田クリニック <https://www.chiyodaclinic.com/>  
Chiyoda Clinic・iPEC X(twitter)

精神科医 吉田 友子



## 児童発達支援部

### a n



どうやって注文するんだっけ？  
確認しながら1人で注文に挑戦！



手順書でルートを確認しつつ  
歩きます♪交通ルールもばっちり！



買ってきたドーナツでおやつ時間♡

### Link



手順を見ながらプラバンを作ったよ！



手順を見ながらロボットを作ったよ！

### Will



お友達と宝探し



手順を見ながら  
荷物の準備の練習



保護者研修を  
実施しました

## 豊中市立児童発達支援センター[通所部門]



カラフル  
お買い物ごっこの流れやルールを確認中



レジでお支払いできました😊♪



くるみ組  
さあ、実りの秋の到来です😊

(西野・上口・瀬川 記)

## ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

### ジョブサイトよど

#### 🌻 クッキング



#### 🌸 創作活動



#### 🍁 秋季レクリエーション



大阪市立科学館



生駒山上遊園地



### ジェイブランチよど

#### 🌻 アート展～海月文庫～



#### 🍷 外食レク～十三界限～



#### 🍷 日帰りレク～ラウンドワン・神戸須磨シーワールド・甲子園歴史館～



(桑田・川添 記)

ぷれいす Be 掲示板

季節の  
イベント



外出



食欲の秋



(八木・西垣・埜 記)

## ジョブジョイント（JJ）おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

| 9月  | 行                                                             | 事 |
|-----|---------------------------------------------------------------|---|
| 4日  | 企業見学（大手銀行会社の特例子会社）                                            |   |
| 12日 | 模擬面接会（淀川就労支援部会主催）<br>キャリア探求プロジェクト（大手スーパーマーケットへの職場見学）          |   |
| 14日 | 土曜開所日（十三オフィス：やきそばづくり、高槻オフィス：ビジネスマナー大会）<br>OBオフ会（カラオケ、エキスポシティ） |   |
| 18日 | 企業見学（障がい福祉施設にて介護補助業務）                                         |   |
| 19日 | ライフスキル倶楽部調理実習（オムライスづくり）                                       |   |
| 24日 | 豊中市立児童発達支援センターにて清掃ボランティア                                      |   |
| 10月 | 行                                                             | 事 |
| 3日  | 勉強会くらし（アイロンがけ/すそあげ）                                           |   |
| 5日  | OB旅行（名古屋/岐阜旅行）                                                |   |
| 7日  | 企業実習（保険会社の特例子会社にて事務軽作業）<br>企業実習（製造会社にて軽作業）                    |   |
| 15日 | 防災訓練（災害用伝言ダイヤル、防災用トイレなどを使ってみよう）                               |   |
| 19日 | ミニ実習報告会                                                       |   |
| 21日 | 企業見学（大手空調機メーカーの特例子会社）                                         |   |
| 11月 | 行                                                             | 事 |
| 5日  | 企業実習（大手航空会社の特例子会社にてスキャン業務）<br>企業実習（障がい支援施設グループホームにてハウスキーパー業務） |   |
| 16日 | 第7回ジョブジョイントおおさか実践報告会@新大阪丸ビル新館                                 |   |
| 25日 | ご利用者健康診断                                                      |   |
| 29日 | 身だしなみビューティーアップ講座（講師：資生堂の方）                                    |   |
| 30日 | 働くチカラPROJECT 先輩のハナシ                                           |   |

（岡本 記）

### ①毎年恒例カレンダープロジェクト

今年もジョブジョイントおおさかオリジナルカレンダーと缶バッジを作成しました。カレンダー作成には12名のプロジェクトメンバーが参加し、各月の作品作りや袋詰めを行いました。缶バッジは、毎年コンテスト形式で作品を決定しています。皆さんのおかげで、2025年が楽しみになるような素敵なカレンダーと缶バッジが完成しました！



### ②模擬面接会にチャレンジ

淀川区地域自立支援協議会 就労支援部会が主催する合同模擬面接会にご利用者の皆さんと参加してきました。淀川区に所属する支援機関のスタッフが面接官役のため、安心して面接練習ができたようです。皆さん緊張されていましたが、フィードバックでは和やかな顔で面接の振り返りをされていました。



### ③温泉旅行いってきました

就職したOBの皆さんたち総勢29名で、愛知/岐阜旅行に行ってきました。名古屋では、水族館チーム、レゴランドチーム、リニア鉄道館チーム、それぞれのチームに分かれて楽しみ、夜は旅館で宴会や温泉、鵜飼を楽しみました。来年の旅行も楽しみです。



### ④第7回実践報告会を開催！

よこはま発達クリニックの宇野洋太先生をお招きし、過剰適応やカムフラージュについて勉強させていただきました。また就職した3名の方からはジョブジョイントおおさかでの訓練から働いている今のことを発表していただいています。毎年、就職した方に発表していただいているのですが、今年の皆さんも上手に発表をしてくださり、学び多い時間となりました。来年も開催できるように、引き続き頑張っていきたいと思います。



## LaLa-chocolat TAKATSUKI 掲示板



いつもご愛顧賜り、誠にありがとうございます。  
皆さまに支えられ、ララショコラは10月21日に9周年を迎えることができました。  
ご利用者の皆さまと9周年を迎えることができ感謝の気持ちでいっぱいです。  
地域の皆さまに愛されるお店作り・ご利用者もスタッフも楽しく働ける事業所作りを大切に、  
10周年に向けて引き続き頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 今年も周年パーティーでお祝いをしました♪



### 地域のイベントに出店しました

高槻将棋まつり



販売  
がんばりました!

たかつき産業フェスタ



準備も  
頑張りました!

中阿武野秋フェス



イベントも  
楽しめました♪



### 冬ギフトのご紹介

いつもご愛顧いただき誠にありがとうございます。  
店頭では冬ギフトをご用意しております。期間限定のティグレを詰め合わせたギフトなど冬の贈り物にご利用いただける商品となっております。  
お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。皆様のご来店心よりお待ちしております。



#### Instagramのご紹介

お店の情報をアップしていますので、ぜひご覧ください♪



## 訪問看護ステーション

### ～訪問の様子～



ボディソックスが大のお気に入り  
スッポリ包まれる感覚が  
好きなのようです♡



働く車の塗り絵とパズルに  
取り組んでいます🚗



### ～家族サロンを開催しました～



ララのお菓子でほっこり♪



皆さまに ご満足いただけ 職員一同 感謝です!!

(岡野 記)

## 萩の杜家族会 掲示板

| 9月  | 行                                                             | 事 |
|-----|---------------------------------------------------------------|---|
| 11日 | 通所部 茶話会（からふね屋珈琲 高槻店） 6名出席                                     |   |
|     | イオン黄色のレシートキャンペーン<br>（関連店での買い物協力依頼）                            |   |
| 26日 | サークル萩（今城塚公民館）                                                 |   |
| 10月 | 行                                                             | 事 |
| 11日 | イオン黄色のレシートキャンペーン<br>（関連店での買い物協力依頼）                            |   |
| 16日 | 会費検討委員会<br>定例会（クロスバル高槻）<br>・事務局 サークル萩 通所部 会計 活動報告<br>・施設からの報告 |   |
| 24日 | サークル萩（今城塚公民館）ミスバリエステティック専門学校のマスター生によるハンドマッサージ                 |   |
| 11月 | 行                                                             | 事 |
| 8日  | 役員会（クロスバル高槻）                                                  |   |
| 11日 | イオン黄色のレシートキャンペーン<br>（関連店での買い物協力依頼）                            |   |
| 12日 | 親睦会 梅の花 10名出席                                                 |   |
| 28日 | サークル萩（今城塚公民館）ミスバリエステティック専門学校のマスター生によるハンドマッサージ                 |   |

（池永 記）

### ○親睦会 2024.11.12 11:30～13:00 梅の花高槻店 参加者 10名

車椅子のため息子さんによる送迎の方もあり、にぎやかに開催、豆腐ゆば料理が基本で高齢者向きの料理でした。

おいしいと好評でおしゃべりもはずみました。本人と我子の現況、報告、欠席者の様子等時間が足りない位でした。

欠席の理由が体調不良（自分、夫）の方が多く、来年度の開催に不安が残りました。



### ○サークル萩 2024.10.24 11.28

昨年に続き今年は2回にわたって梅田の美容専門学校の生徒さん達が10名ずつ参加されました。

日頃からボランティアで活動しているグループに実習を兼ねて無料でマッサージをして喜んでもらいたい意図があるとのこと。

今年は、先方の依頼で笠原さん山尾さんが事前に家族会の説明のために学校を訪問したそうです。

30年前からの萩の杜設立の歴史、現在の法人の事業等を詳しく話を聞いてもらったとのこと。学生さん達は親達の熱意と継続して努力をしていることに感動して感想文を沢山寄せて下さいました。

当日は牛乳パック利用の大型座椅子の組立て作業をしてもらいました。その後本番のマッサージに入りました。

私達のしみやしわのある手を腕にオイルをぬりスベスベにしてもらいました。

又肩のマッサージも気持ち良かったです。最後に山尾さん手づくりのクッキーとコーヒーでなごやかな交流会をしました。

そして、チューリップ3本づつをプレゼントしてとても喜ばれました。

若いエネルギーをもらい貴重な時間でした。



## ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

| 9月  | 行                                                                                                                                                                                                                                               | 事 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 3日  | 第4回 役員会（高槻市地域福祉会館3階 会議室1）<br>＜議題＞<br>①ジョブサイトひむろより報告（森田施設長）<br>②内覧会について<br>③寄付物品について<br>④会計報告<br>⑤今後の役員会・定例会の日程確認<br>⑥第2回定例会議題について<br>⑦次回開催予定 第2回定例会＋第5回役員会 10月3日（木）                                                                             |   |
| 24日 | 新設グループホーム希望者の会「グループホームについての座談会」開催<br>参加者：レジデンスなさはら（6名） なさはらもとまち（2名）<br>新設希望者の会（14名） 合計（22名）<br>場所：クロスパル高槻 303号室 10時～12時                                                                                                                         |   |
| 30日 | 家族会会長会議（高槻市立生涯学習センター 第2会議室） 金谷会長出席                                                                                                                                                                                                              |   |
| 10月 | 行                                                                                                                                                                                                                                               | 事 |
| 3日  | 第2回 定例会（クロスパル高槻 5階視聴覚室）<br>＜議題＞<br>①法人近況報告（松上理事長）（平野常務理事）<br>②ジョブサイトひむろ近況報告（森田施設長）<br>③会計報告<br>④家族会より（寄贈物品・内覧会 他）<br>第5回役員会<br>＜議題＞<br>①本日の定例会での議論を踏まえて審議すべき事項<br>②今後の役員会・定例会の日程確認<br>③第6回役員会の議題等について<br>④第6回役員会までの準備<br>⑤次回予定 第6回役員会 11月14日（木） |   |
| 11月 | 行                                                                                                                                                                                                                                               | 事 |
| 14日 | 第6回 役員会（高槻市地域福祉会館3階 会議室1）<br>①ジョブサイトひむろより報告（森田施設長）<br>②内覧会について<br>③クリスマスプレゼントについて<br>④職員さんへのお祝い金について<br>⑤役員改選について<br>⑥今後の役員会・定例会の日程確認<br>⑦第7回役員会の議題等について<br>⑧会計報告<br>⑨次回予定 内覧会 12月24日（火） 10:30～12:00<br>第7回役員会 1月21日（火） 予定                      |   |
| 20日 | 北摂杉の子会後援会 臨時役員会（高槻商工会議所第3会議室） 金谷会長出席                                                                                                                                                                                                            |   |

（山田 記）

## ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

| 9月  | 行                                                                                                                                   | 事 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 3日  | 9月定例会（淀川区民センター）<br>「生活習慣病について」<br>法人：下部長、原田副部長、神垣看護師<br>ジョブサイトよど家族会（出席：9名）<br>ジェイ・ブランチよど家族会（出席：2名）                                  |   |
| 28日 | 合同役員会（ジョブサイトよど1階）                                                                                                                   |   |
| 30日 | 家族会会長会（高槻市生涯学習センター）<br>出席：永井会長、玉木会長                                                                                                 |   |
| 10月 | 行                                                                                                                                   | 事 |
|     | 活動なし                                                                                                                                |   |
| 11月 | 行                                                                                                                                   | 事 |
| 5日  | 11月定例会（淀川区民センター）<br>「婦人科の病気のこと知っていますか?」「グループホームの現場から」<br>法人：下部長、原田副部長、河端先生、森口ST、高木ST<br>ジョブサイトよど家族会（出席：10名）<br>ジェイ・ブランチよど家族会（出席：4名） |   |
| 20日 | 北摂杉の子会後援会 臨時役員会（高槻商工会議所）<br>出席：永井会長、玉木会長                                                                                            |   |

（永井 記）

## ぶれいすBe家族会 掲示板

| 9月  | 行                                                                                                                                                                                  | 事 |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 11日 | 役員会（ぶれいすBe相談室1）参加者：7名<br>・定例会について<br>・参観&ランチについて<br>・懇親会について<br>・Beどうし夏秋号について                                                                                                      |   |
| 30日 | 参観&ランチ 参加者：6名<br>家族会会長会出席（高槻市生涯学習センター）                                                                                                                                             |   |
| 10月 | 行                                                                                                                                                                                  | 事 |
| 9日  | 役員会（ぶれいすBe相談室1）参加者：8名<br>・参観&ランチの報告と次回（10月22日）の確認<br>・懇親会について<br>・定例会の最終確認                                                                                                         |   |
| 12日 | 定例会（カフェBe）参加者：会員22名Beより竹内施設長10:00～12:00<br>・第15期 上半期活動報告・上半期会計報告<br>・ぶれいすBeより活動報告<br>・ぶれいすBeより2023年10月～2024年9月の事故に関する年次報告<br>・各テーブルでの意見交換（今回初の試みとして小グループに分かれて実施）<br>後日交換会の内容を会員に配布 |   |
| 22日 | 参観&ランチ 参加者：5名                                                                                                                                                                      |   |
| 11月 | 行                                                                                                                                                                                  | 事 |
| 7日  | 懇親会（津の田ミート ランチ）参加者：16名                                                                                                                                                             |   |
| 13日 | 役員会（カフェBe）参加者：10名<br>・定例会（10月12日開催）の振り返り<br>・参観&ランチの報告<br>・懇親会の振り返り<br>・寄付金について                                                                                                    |   |
| 20日 | 杉の子会後援会定例役員会出席（高槻商工会議所）                                                                                                                                                            |   |

（芦川 記）



## 北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### <報告事項>

#### I 会員数の動態と資金について

|     | 個人会員数 | 納入率   | 団体会員数 | 納入率   | 寄付 |
|-----|-------|-------|-------|-------|----|
| 4月  | 602   | (5%)  | 36    | (3%)  | 3  |
| 5月  | 602   | (8%)  | 36    | (3%)  | 2  |
| 6月  | 602   | (9%)  | 36    | (6%)  | 1  |
| 7月  | 602   | (10%) | 36    | (6%)  | 1  |
| 8月  | 613   | (20%) | 36    | (11%) | 3  |
| 9月  | 615   | (22%) | 36    | (14%) | 2  |
| 10月 | 615   | (30%) | 36    | (14%) | 0  |
| 11月 | 619   | (33%) | 36    | (53%) | 4  |

#### 11月末現在の増減・累計

個人：19名 団体：0 寄付：16名

資金 会費：866,000円 寄付：488,000円 合計：1,354,000円

II 今年度11月末までに会費、寄付金合わせまして1,354,000円の資金を頂戴いたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 臨時役員会を開催（2024年11月20日）し下記の案件について確認。

1. 今年度の寄付金使途について
2. 今年度の会員動態と資金の推移について
3. 年度計画の進捗確認
  - 各家族会の活動報告
  - 会員拡大の検討
4. SNS等の活用件
5. 次回臨時役員会の開催予定
 

日時：2025年2月19日（水）10：00～11：30

場所：高槻城公園芸術文化劇場

（沖本 記）

## 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会  
00920-8-90859

（注）任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会  
口座番号：5085555

## ～ 皆様の温かいご支援に 感謝いたします ～



□ 法人へのご寄附に感謝いたします。(令和6年9月1日～令和6年11月30日)

田口容子 玉木一彦 松尾弘明 河端輝子 三宅達也 株式会社輝きプランニング

□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和6年9月1日～令和6年11月30日)

前田さおり 長尾京子 堀久志 山里将夫 小野里佳 岩井光男 清水康夫 松原茂樹 篠田正道 田部純史  
伊藤雅子 高下啓子 芦川香織 井筒浩美 伊藤克行 大曾根哲也 大屋智資 川口清美 河端良一  
清藤玲子 河内久和 厚東洋輔 小浦健吾 財津博文 斎藤千鶴 笹尾武司 澤村淑子 下江正治 大門智将  
辰巳浩一郎 永村博 西口聖治 西山禎一 林慎一郎 松永浩 宮本三郎 山本道規 和田進 副島雄彦  
久保田学 森谷弘雅 森谷薫美 久慈良政 永田啓子 永田泰士 寺村有理子 遠藤仁子 河坂昌利  
本田英世 本田賀子 本田俊之 本田聡 本田宏美 本田利秋 友井尚子 佐々木寛昭  
若松産業有限会社 中村英一 神峯山寺 千里ハウジング株式会社 代表取締役 小山洋司  
医療法人 木村診療所 津本学 寺田軌道株式会社 代表取締役 寺田秀喜 高槻市教職員組合  
エムズエンジニアリング株式会社 株式会社 二井清治建築研究所 社会福祉法人 なみはや福祉会 中津保育園  
医療法人 光愛会 光愛病院 やまびこ園 特定非営利活動法人 ふれあいぽっぽ  
医療法人桜峰会 香川クリニック トヨタモビリティ新大阪株式会社 名神茨木店 キンキ寝具株式会社  
匿名23人

□ 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和6年9月1日～令和6年11月30日)

軽込昇 永田啓子 田中宏明 若松産業有限会社 中村英一 匿名2人

□ 家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和6年9月1日～令和6年11月30日)

池上みどり 岡田公子 古賀 南野佐智子 吉田尋美 中村叔子 吉田美穂子 木内一美 小林夏子

□ 家族会へのボランティアに感謝いたします。(令和6年9月1日～令和6年11月30日)

佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会  
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2025年1月31日

定価100円

## 施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部  
人材育成研修室**  
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
- **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
- **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら**  
(生活介護)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**  
(短期入所・日中一時支援)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
- **レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
- **ジョブサイトひむろ** (生活介護)  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**  
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900  
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**  
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**  
(発達障害者支援センター事業)  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13  
谷四ばんらいビル10F  
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
- **児童デイサービスセンター an**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
- **こども発達支援センター will**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F  
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056

- **こども相談支援センター wish**  
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)668-4776 FAX (072)681-4900
- **自閉症療育センター Link**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F  
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
- **ジョブサイトよど** (生活介護)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
- **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号  
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
- **レジデンスよど三津屋北ホーム** (共同生活援助)  
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
- **レジデンスよど十三ホーム** (共同生活援助)  
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町2丁目14番9号
- **ジョブジョイントおおさか**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号  
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
- **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F  
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
- **すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401  
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
- **豊中市立児童発達支援センター【通所部門】**  
〒561-0854 豊中市稲津町1丁目1番20号 1階  
TEL (06)6676-7890 FAX (06)6676-7889

### 【法人自主製品店舗】

- **「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**  
就労継続支援B型  
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号  
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081  
営業時間：10:00～19:00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業



社会福祉法人  
北摂杉の子会



社会福祉法人  
北摂杉の子会